

令和 6 (2024) 年度実績と 主な取組について

令和 7 年 8 月 2 0 日 平塚市病院運営審議会
平塚市民病院



令和 6 年度の取組

令和6年度の取組 はじめに

令和6年度は病院の最重点目標として

「新入院患者数」(令和6年度目標値10,300人)

を達成するために取り組みました。

令和6年度に取り組んだ内容

①院内情報共有の強化

②高度医療機器

- 循環補助用心内留置型ポンプカテーテル導入（9月）
- 末梢血管用血栓吸引デバイス導入（1月）
- hinotori手術の拡大と症例見学受入開始

③病院救急車の導入（2月使用開始）

④キッズ病院お仕事体験の開催（初開催）（7月）

⑤1日看護体験の病棟勤務見学を再開（8月）

⑥職員育成の強化

①院内情報共有の強化

幹部ミーティング開始と院内ポータル活用

令和6年4月～

- 幹部(管理者、病院長、副病院長)で「方向性ミーティング」を
毎朝実施

→前日の入退院、今朝の入院患者数、前日の出来事の情報共有

- 院内ポータルを活用して、病院長のコメント、
新入院患者数などを院内に発信

→患者数、経営指標などを毎日更新

②高度医療機器

循環補助用心内留置型ポンプカテーテル導入

令和6年9月

循環補助用心内留置型ポンプカテーテル(インペラ)導入

●心原性ショックの患者に対して、心臓の代わりとなって全身に血液を送る装置

相模川以西の県内で2施設目

令和6年度に10例実施

循環器領域の救急体制を充実

⇒心原性ショックの救命率の向上に寄与



②高度医療機器

末梢血管用血栓吸引デバイス導入

令和7年1月

末梢血管用血栓吸引デバイス（インディゴ）導入

●血栓塞栓症治療に使用される、血栓を機械的に吸引する装置

県内で4施設目

相模川以西の県内で2施設目



末梢血管治療の充実

画像提供：朝日インテックJセールス株式会社

②高度医療機器

hinotori手術の拡大と症例見学受入開始①

令和6年 4月：腎尿管全摘除術の初例施行
8月：肝切除術の初例施行
9月：膵切除術の初例施行
10月：腎部分切除術の初例施行



適用術式の拡大

診療科	術式	R5年度	R6年度	診療科	術式	R5年度	R6年度
泌尿器科	前立腺全摘除術	27件	36件	消化器外科	直腸切除術	4件	22件
	仙骨脛固定術	44件	38件		肝切除術	0件	10件
	腎摘除術	1件	4件		膵切除術	0件	4件
	腎尿管全摘除術	0件	4件		結腸切除術	0件	2件
	腎部分切除術	0件	5件		その他	3件	1件

初例（R4.10）から令和6年度までに **合計217件** 実施

hinotori手術の拡大と症例見学受入開始②

- 症例見学施設とは、指導者として学会から認定された医師が所属し、**安全に手術を遂行できる技量及び設備を有する施設**が認定されます。今後、新たに手術を実施する医療機関の症例見学を受け入れます。

【平塚市民病院が症例見学施設とされている術式】

- 仙骨脛固定術（令和6年3月4日～）
- 前立腺全摘除術（令和7年2月26日～）
- 肝切除術（令和7年6月5日～）



令和6年度症例見学受入実績：3件(仙骨脛固定術)

低侵襲手術の普及に貢献しています。

③病院救急車の導入

市民の寄付金で病院救急車を購入

市民からの寄付金を活用し、高規格病院救急車を購入

(救急救命措置のために必要な車内空間と救急資機材を備えた救急車)

【使用方法】

- ・ドクターカーとして医師、看護師が現場へ出動し、医療介入を行う。
- ・患者搬送車として、患者の状態にあった医療機関等との搬送

⇒患者の救命に寄与
⇒地域連携の充実
⇒救急車の搬送の一部を病院車両が担うことで救急隊の負担軽減に貢献



④キッズ病院お仕事体験の開催

キッズ病院お仕事体験の開催（初開催）

7月27日

小学生向け体験イベント

キッズ病院お仕事体験2024「救命救急センター24時」を開催

●市内外から小学校4～6年生の子どもと保護者18組36人が参加

【主な体験内容】

- 手指消毒
- 心臓マッサージ
- 聴診
- 超音波
- DMA T車見学
- 気管挿管
- 血圧測定



応募倍率 4.8 倍



⑤ 1日看護体験

1日看護体験の病棟勤務見学を再開

8月9日、22日

コロナ期間にはできなかった

1日看護体験(中学生、高校生対象)の病棟勤務見学を
再開

※県内外から37人が参加



院内での特定看護師の育成

令和6年9月

看護師特定行為研修機関としての1期目の研修が修了しました。

●救急領域パッケージ：2人

●末梢留置型中心静脈注射用カテーテル：2人

※令和6年10月から2期目の研修を行っています。

「救急領域パッケージ2人」「末梢留置型中心静脈注射用カテーテル2人」

まとめ

今後も

“選ばれる病院” となることで

新入院患者の更なる受入れに努めます。

令和 6 年度実績

最初に

令和 6 年度は、引き続き

「新入院患者の受入」(R6年度目標:10,300人)

と

「D P C入院期間Ⅱを意識した在院日数管理」

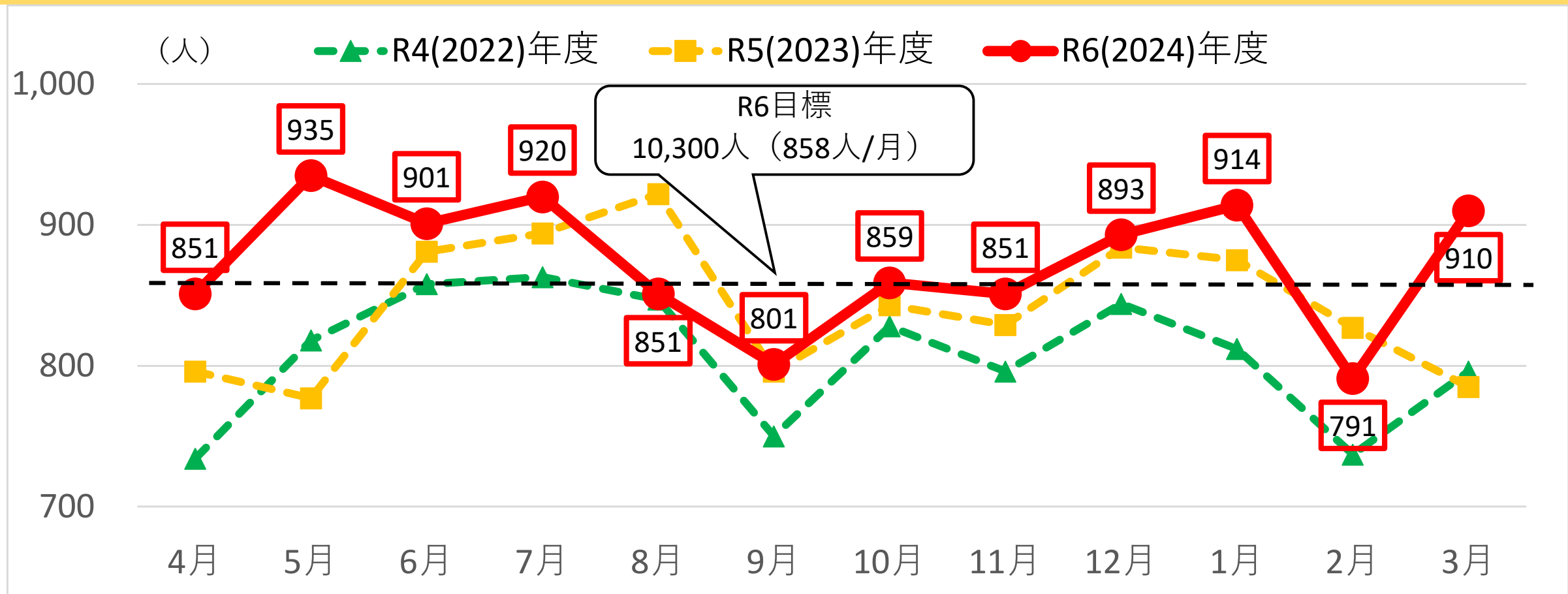
を重視しました。

主な臨床指標の前年度比較

	令和5年度	令和6年度	差
新入院患者数	10,109人	10,477人	+368人 (+3.6%)
1日平均入院延患者数	299.7人	313.9人	+14.2人 (+4.7%)
1日平均外来延患者数	768.3人	783.2人	+14.9人 (+1.9%)
病床利用率(許可病床ベース)	66.4%	69.6%	+3.2ポイント
手術件数	4,140件	4,642件	+502件 (+12.1%)
救急搬送件数	10,322件	10,060件	▲262件 (▲2.5%)
救急搬送入院患者数	3,241件	3,456件	+215件 (+6.6%)
紹介率	86.5%	86.0%	▲0.5ポイント
逆紹介率	89.9%	92.9%	+3.0ポイント

令和6年度実績（入院）

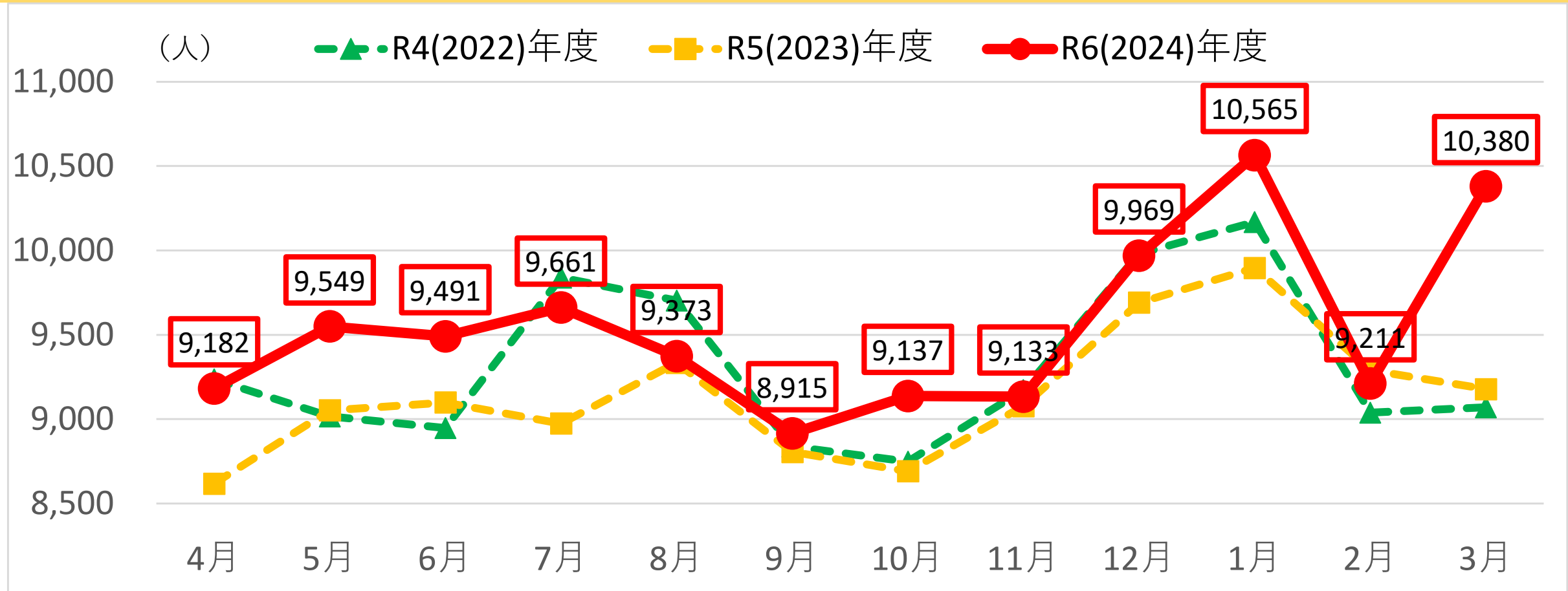
新入院患者数の推移



令和6年度は、令和5年度よりも新入院患者数が増加したが、
目標未達成の月がある。

令和6年度実績（入院）

入院延患者数の推移



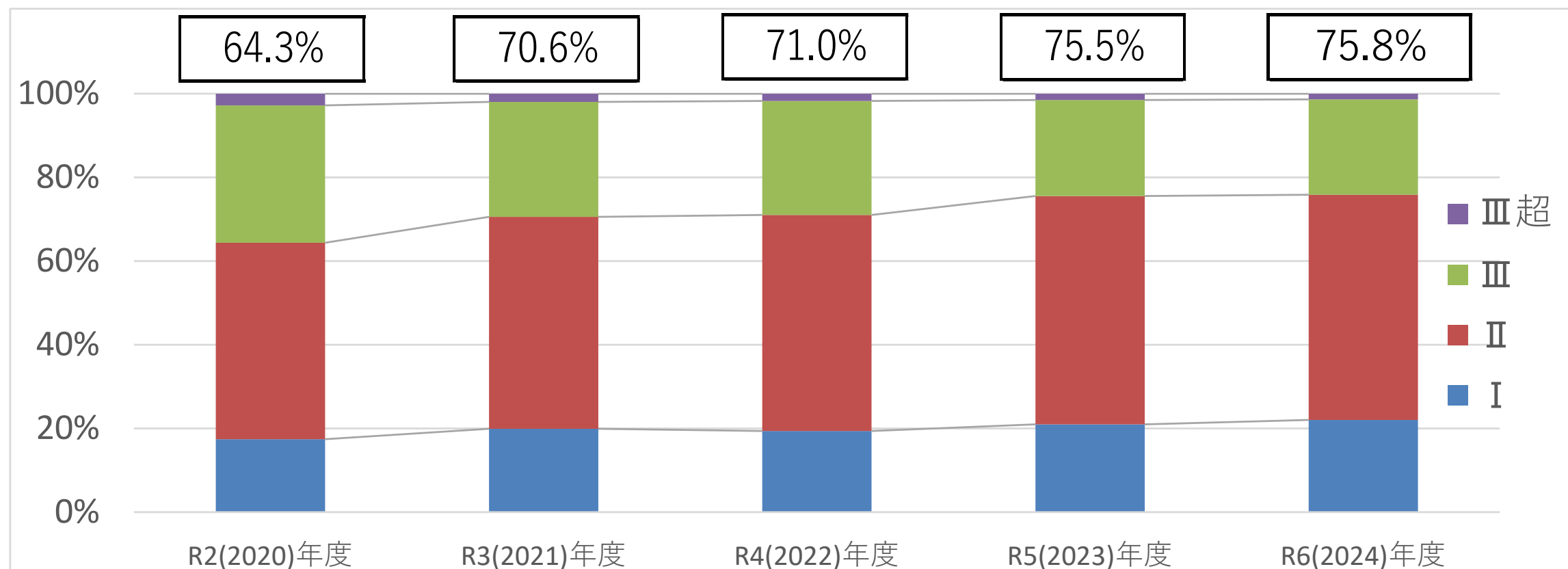
令和6年度の延べ患者数は、令和5年度より
4, 860人増加

令和6年度実績（入院）

D P C入院期間Ⅱ以内での退院率

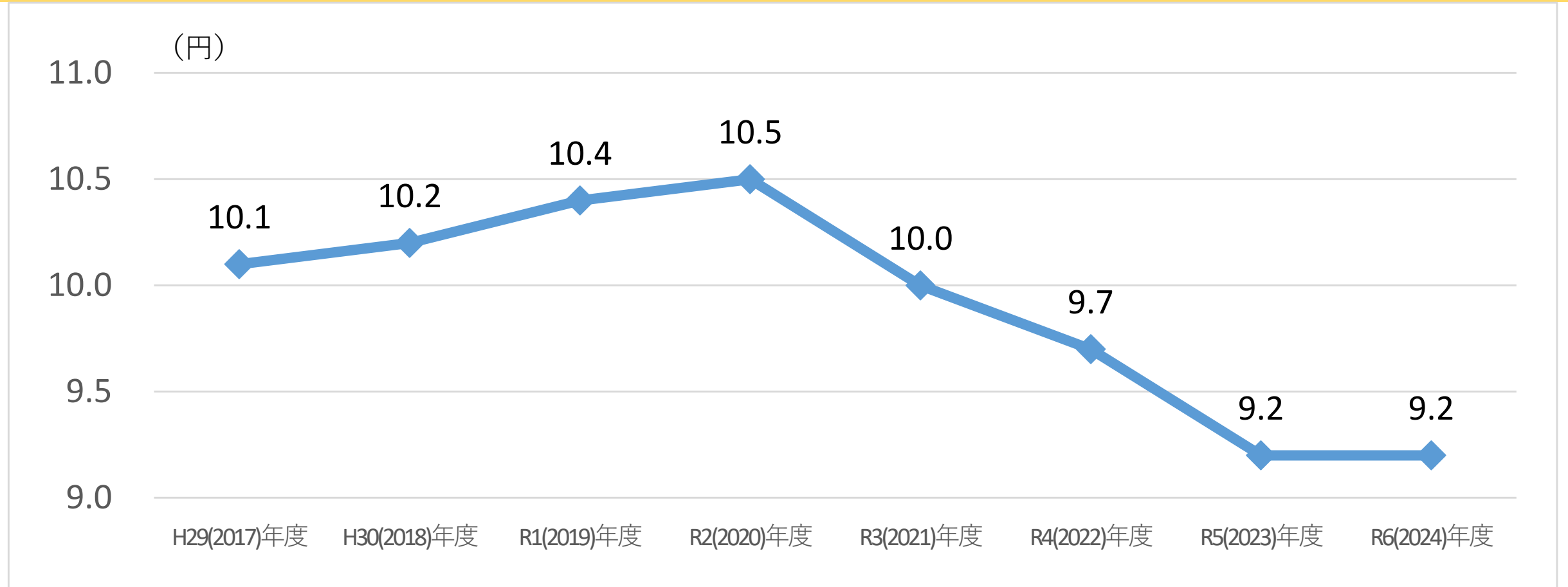
D P C制度は、入院診療報酬請求の制度で、病名や手術の有無等により、分類わけされ、在院日数に応じて1日当たりの点数が定められている。入院期間Ⅱまでであれば、その治療に対する平均的な収入が得られる。

D P C入院期間Ⅱ以内での退院率が増加



令和6年度実績（入院）

平均在院日数の推移



平均在院日数は短縮傾向

令和6年度実績（入院）

診療科別新入院患者数比較

R5-R6患者増減数が大きい診療科

	令和5年度	令和6年度	差	備考
病院全体	10,109人	10,477人	+ 368人 (+ 3.6%)	
内科	1,886人	2,100人	+ 214人 (+ 11.3%)	
脳神経外科	383人	496人	+ 113人 (+ 29.5%)	
耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	90人	167人	+ 77人 (+ 85.6%)	
産婦人科	764人	706人	▲58人 (▲7.6%)	
呼吸器外科	97人	38人	▲59人 (▲60.8%)	
消化器内科	1,437人	1,354人	▲83人 (▲5.8%)	

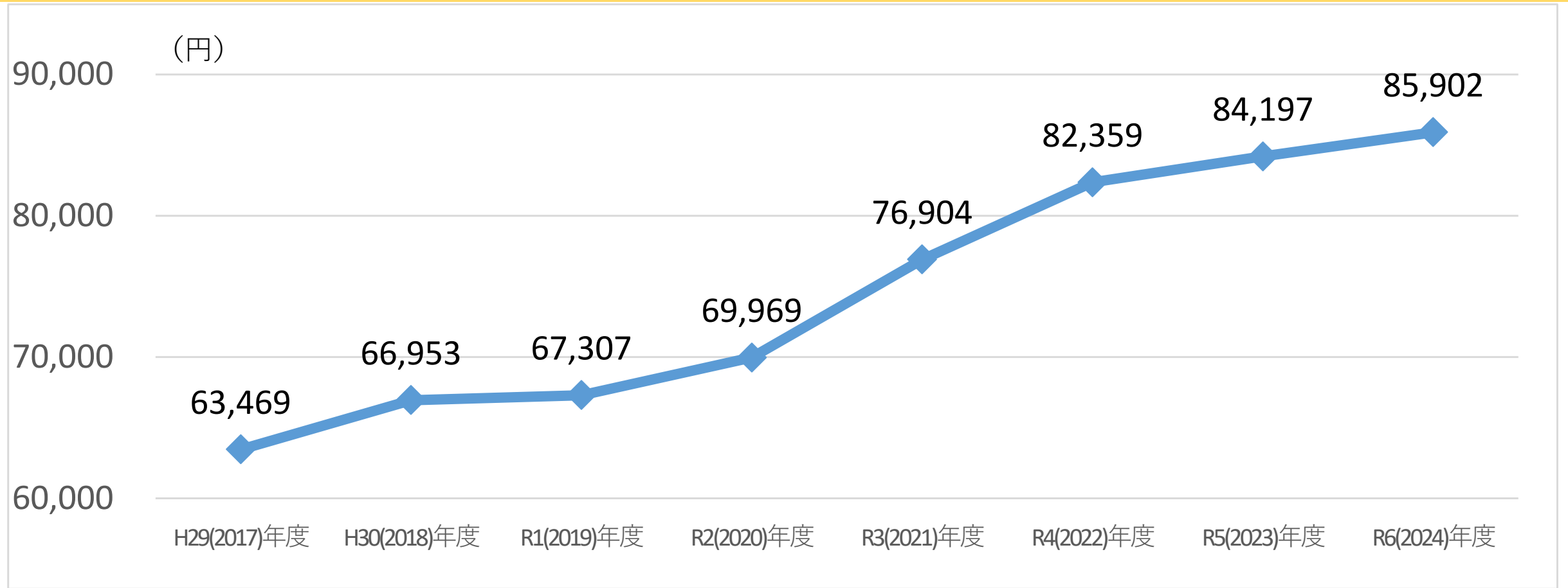
疾患別入院実患者数比較

R5-R6患者増減数が大きい疾患

	令和5年度	令和6年度	差
肺炎等	212人	281人	+69人（+32.5%）
てんかん	75人	133人	+58人（+77.3%）
心不全	232人	282人	+50人（+21.6%）
穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	214人	177人	▲37人（▲17.3%）
その他の感染症（真菌を除く。）	181人	119人	▲62人（▲34.3%）
子宮頸・体部の悪性腫瘍	133人	71人	▲62人（▲46.6%）

令和6年度実績（入院）

入院診療単価の推移

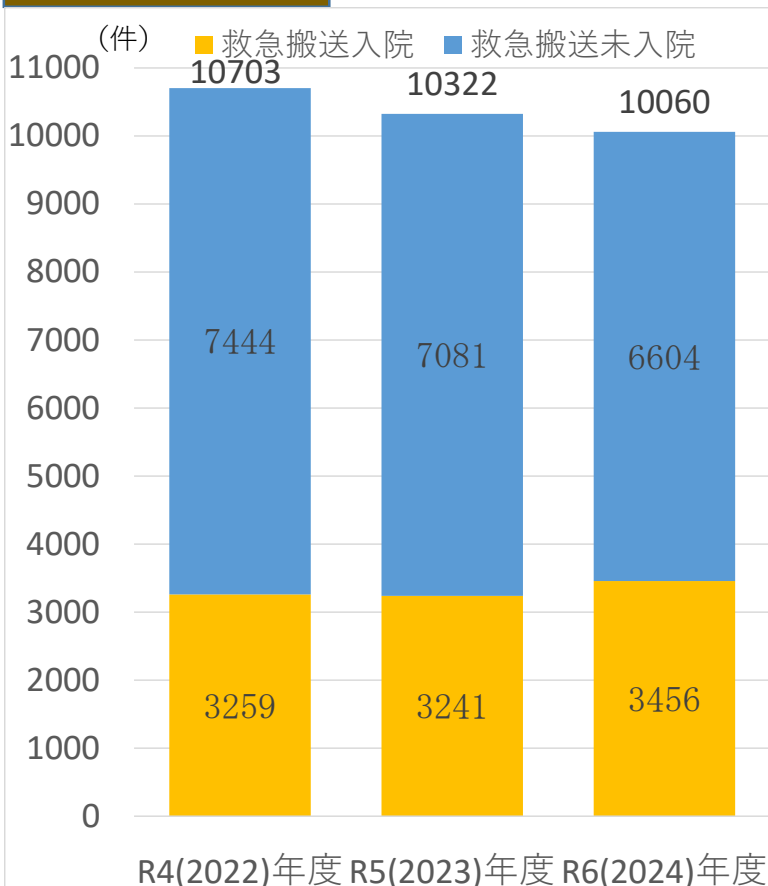


入院診療単価は増加、収入額は入院基本料の増加が大きい

令和6年度実績（入院）

救急搬送受入の推移

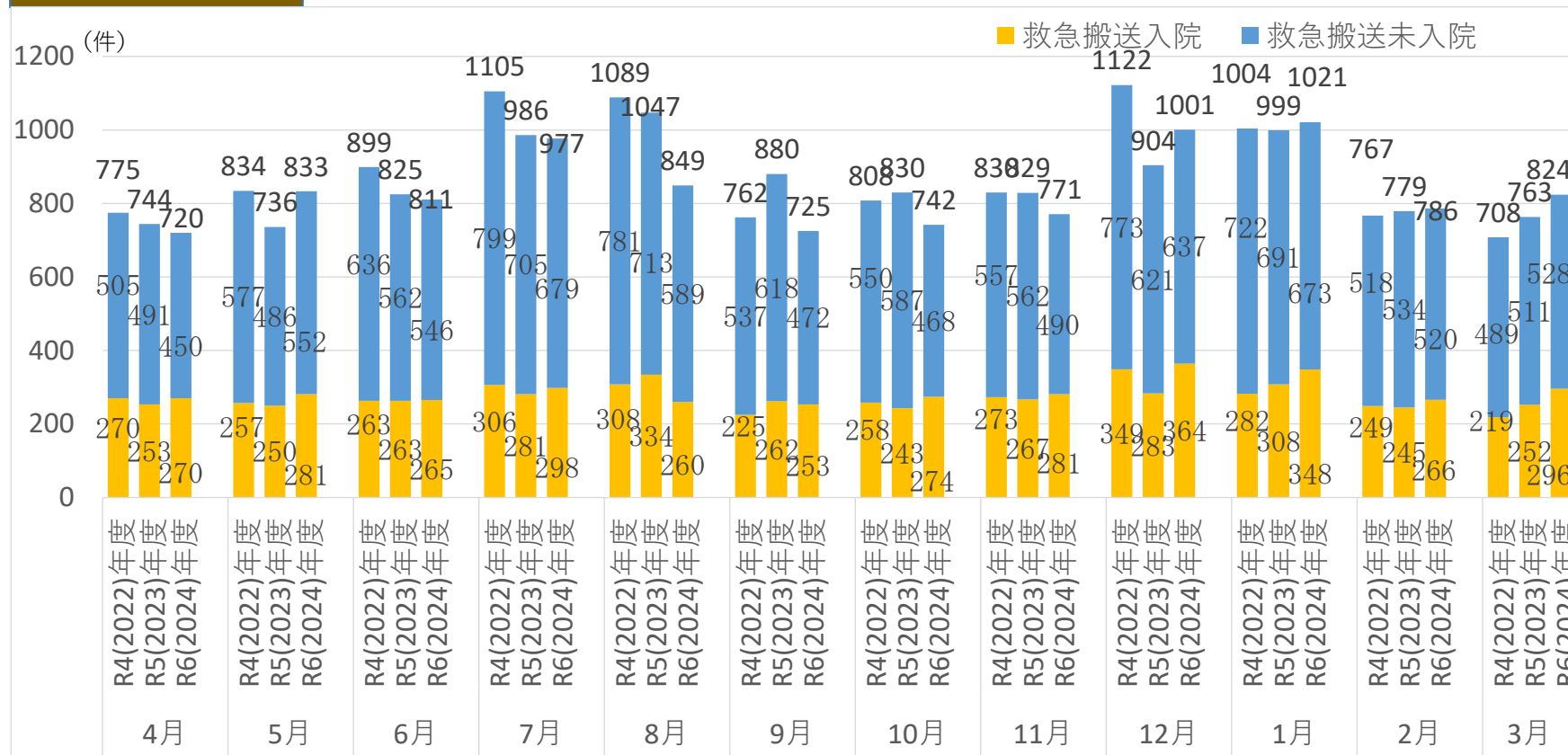
年間実績



R4(2022)年度 R5(2023)年度 R6(2024)年度

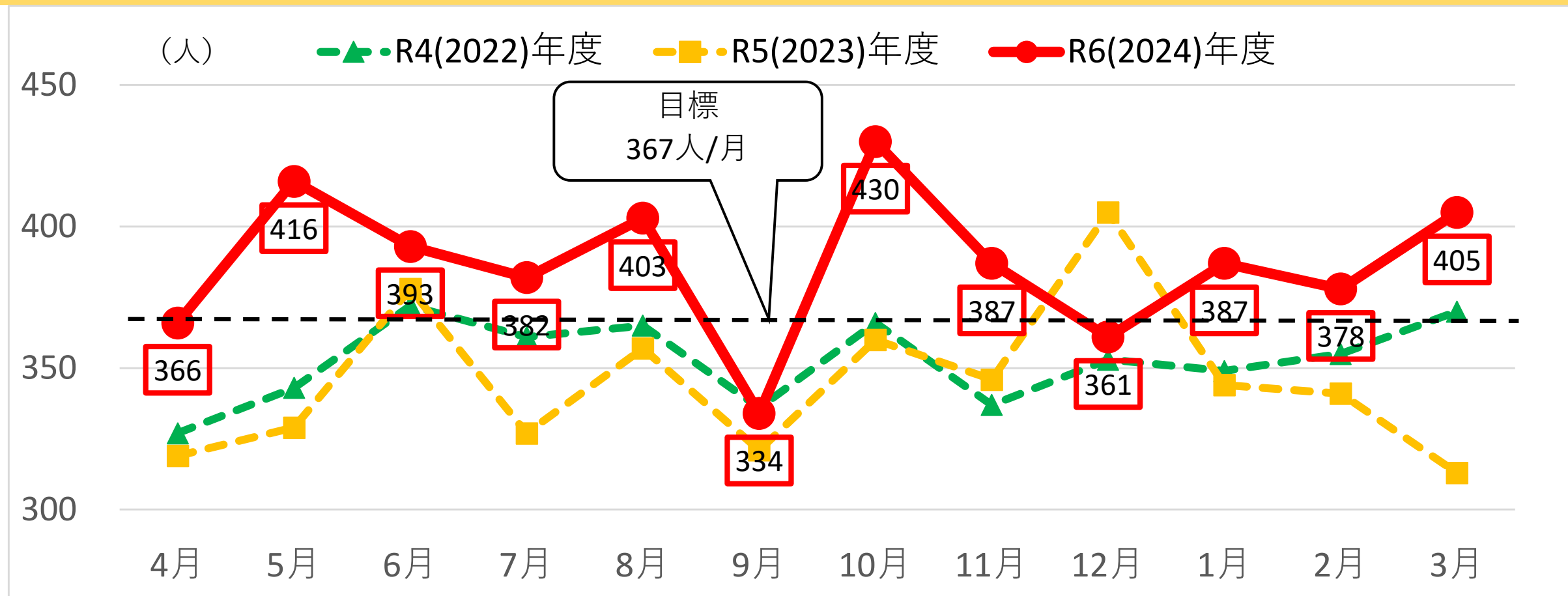
救急搬送入院率
31.4%(R5)⇒34.4%(R6)

月別実績



救急搬送件数は減少、救急搬送入院患者数が増加
救急搬送入院率は増加

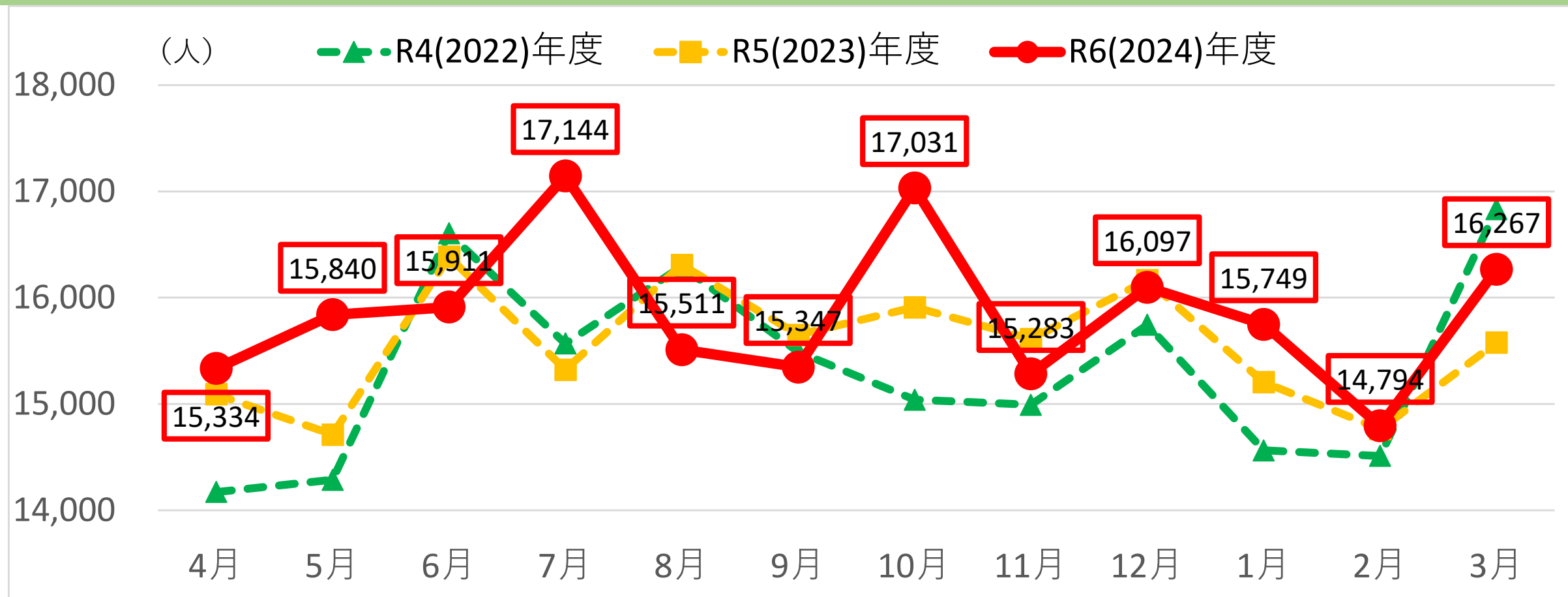
令和6年度実績（入院） 手術件数の推移



令和6年度は、令和5年度より502件増加
(全身麻酔件数は217件増加)

令和6年度実績（外来）

外来延患者数の推移



外来延べ患者数は3,602人増加

令和6年度実績（外来）

診療科別外来延患者数比較

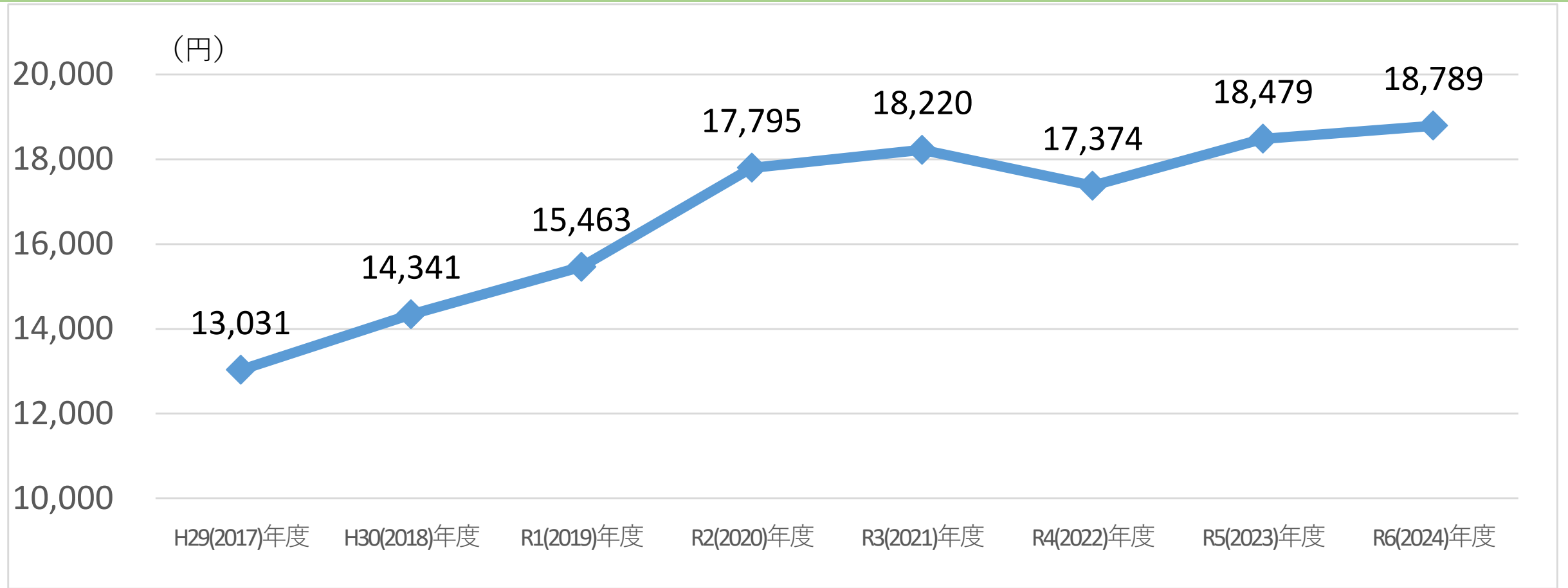
R5-R6患者増減数が大きい診療科

	令和5年度	令和6年度	差	備考
病院全体	186,706人	190,308人	+ 3,602人 (+1.9%)	
眼科	5,878人	7,245人	+ 1,367人 (+23.3%)	常勤医師 1 人増
耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	4,075人	5,086人	+ 1,011人 (+24.8%)	
整形外科	15,644人	16,486人	+ 842人 (+5.4%)	
呼吸器外科	1,819人	1,342人	▲477人 (▲26.2%)	
形成外科	4,629人	3,697人	▲932人 (▲20.1%)	常勤医師 1 人減
消化器外科	11,895人	10,877人	▲1,018人 (▲8.6%)	

常勤医師の増減の影響が大きい。

令和6年度実績（外来）

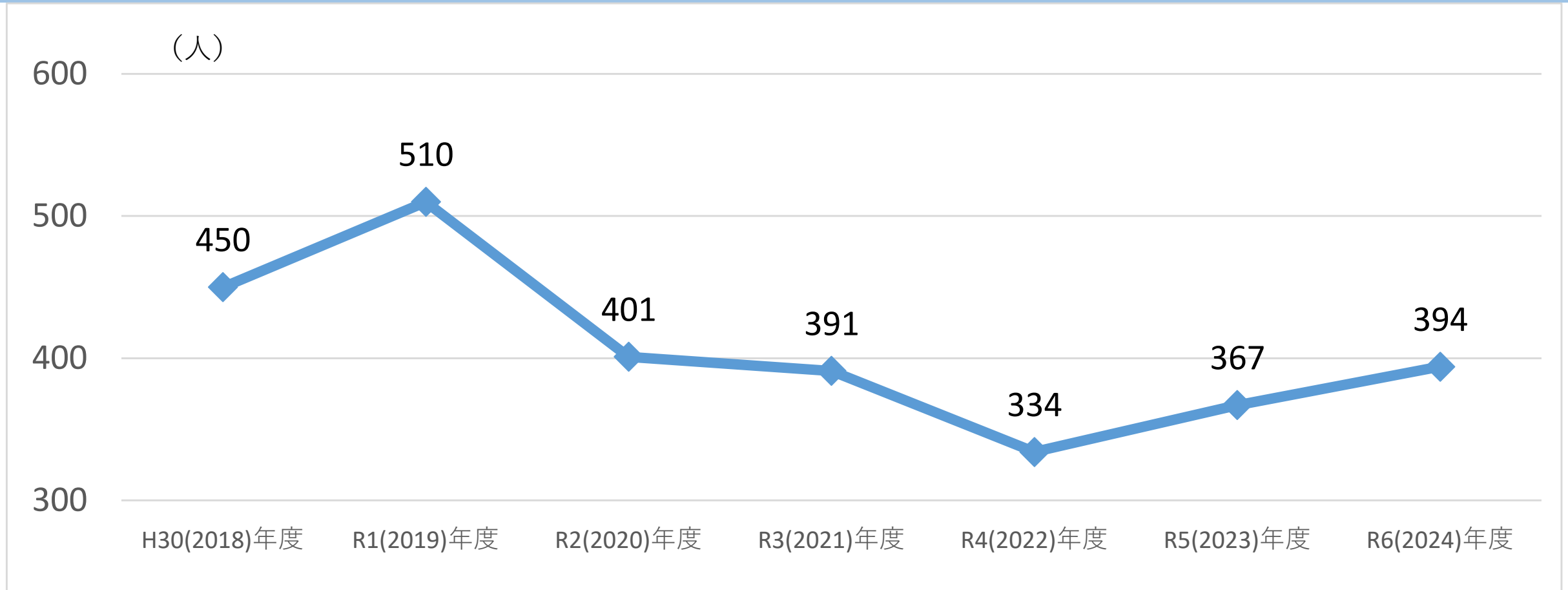
外来診療単価の推移



外来診療単価が増加、収入額は注射料の増加が大きい

令和6年度実績（政策的医療）

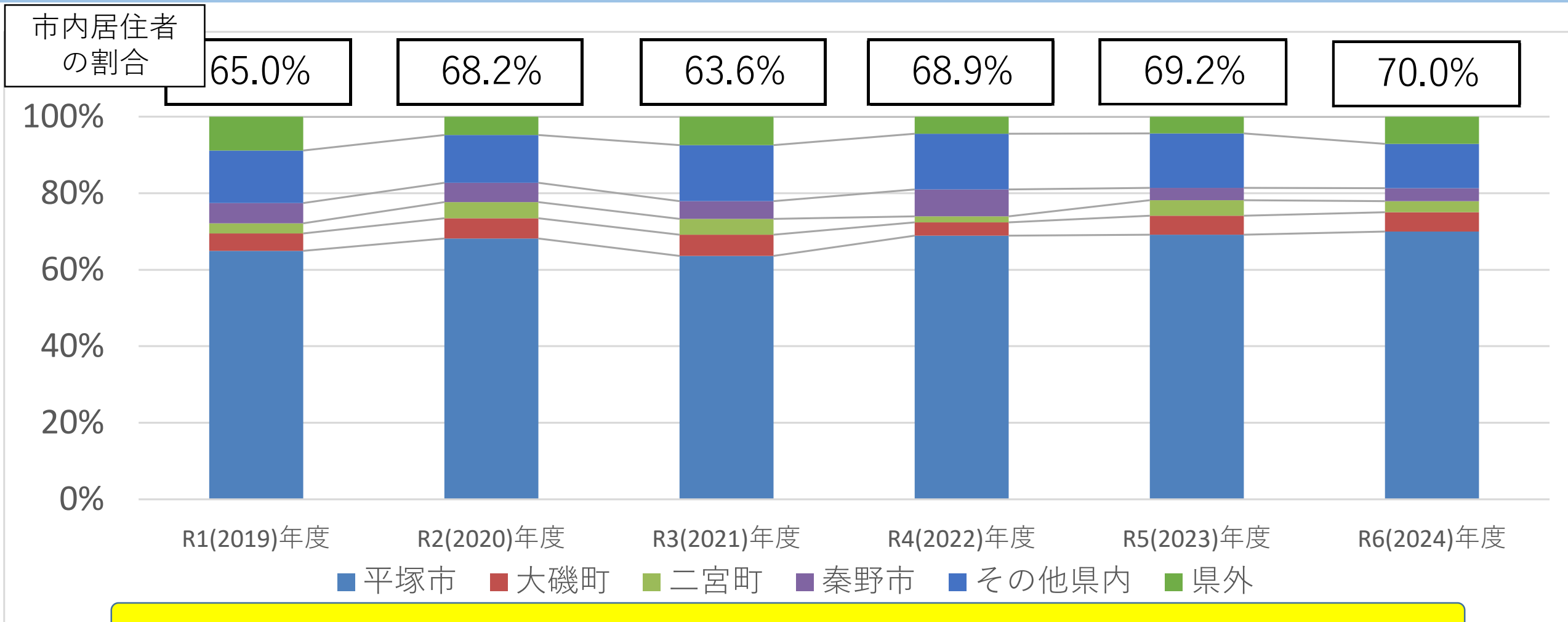
分娩件数(子どもの数)の推移



予定・緊急帝王切開の増加により分娩数が増加
前年度比＋27件（＋7.4％）

令和6年度実績（政策的医療）

居住地別出生数（母体数）の推移



市内居住者の割合が増加傾向

令和6年度実績（経営）

主な経営指標の前年度比較

	令和5年度	令和6年度	差
医業収益	129億2,300万円	136億8,100万円	+ 7億5,800万円（+ 5.9%）
入院収益	92億3,700万円	98億4,100万円	+ 6億500万円（+ 6.5%）
外来収益	34億5,000万円	35億7,600万円	+ 1億2,600万円（+ 3.6%）
医業費用	149億4,100万円	161億9,800万円	+ 12億5,700万円（+ 8.4%）
給与費	82億9,600万円	90億3,500万円	+ 7億3,900万円（+ 8.9%）
材料費	31億6,100万円	34億5,100万円	+ 2億9,000万円（+ 9.2%）
修正医業収支比率	86.5%	84.5%	▲2.0ポイント
経常収支比率	96.8%	97.6%	+ 0.8ポイント

入院診療単価や入院患者の増加で収益は増加
一般会計負担金の影響で経常収支比率は改善

まとめ

- 新入院患者が増加し、収益が増加しましたが、費用が収益以上に増加しました。
- 経費の抑制を図りつつ、特に紹介患者や救急受診患者の増加を図り、新入院患者を更に増やすことが必要です。